

## 丸山湿原群保全の会

今住悦昌（代表） 水田光雄（副代表）

### はじめに

丸山湿原群は宝塚市北部、西谷地域に広がる湧水湿原群（滲水湿原群）である。5つの形状の違う谷型湿原で構成され、面積は湿原群合計約3930㎡。多くの貴重種を含む動植物が確認され、生物多様性の宝庫となっている。

その湿原群の重要性から2014年に宝塚市、2015年には兵庫県天然記念物に指定された。集水域が複雑なため、湿原群と周辺の山林から構成される71.30haの天然記念物指定である。

湿原の本格的な発達は、周辺山林の薪炭利用が盛んになった江戸時代前期ごろからだと考えられている。

里山（山林利用）としての役割が終わった今、放置による規模の縮小や動植物の減少が心配されている。

山林活用がされていない現在ではあるが、「里山」としての天然記念物指定であり、人の手が加わり続けることが前提である。天然記念物の概念が変わるという意味で非常に大きな意義があった。

丸山湿原群は環境省の重要湿地に、西谷地域は重要里地里山にも指定されている。



### 丸山湿原群保全の会

2004年、地域住民・学識経験者・行政を構成員とした西谷地区湿原群研究協議会が組織され、「丸山湿原群保全活用リーダー養成ワークショップ」を一般募集する。研修・保全方法の学習を2年間にわたり実施後、2006年12月「丸山湿原群保全の会」として活動を開始した。2008年「丸山湿原エコミュージアム推進協議会」も発足し、地域ぐるみの応援がなされている。本年度で活動12年目を迎える。

### 活動内容

#### ①基礎調査

湿原の状態と変化を把握するため、毎月水質検査（水温・電気伝導度測定）と動植物の定点観測を実施。電気伝導度データは12年分の蓄積がある。年平均35μS/cm前後を維持していることから、湿原内は良好に（貧栄養状態が）保たれていると思われる。昨年からは水のPH測定も加えた。



#### ②セミナーの実施

年2回、学識者を招聘し一般向けセミナーを実施。丸山湿原群を軸とした生物多様性の重要性をアピールしている。今年度は西谷中学校への出前授業（出前セミナー）をおこなった。西谷小学校4・5・6年生も参加するセミナーとなった。

また、3月4日午前にも両生類セミナーを実施予定。午後には両生類（カスミサンショウウオ・アカガエル類）の卵塊数調査も実施する。（調査は毎年実施）

これらのセミナーは丸山湿原群のみならず、西谷地域全体の自然環境をどうとらえ守っていくかがテーマである。

#### ③植生調査

毎年8月に実施しているサギソウ開花数調査。一般参加者をグループに分け、ルートセンサス方式で開花株数を調査。隔年で開花数が



増減していると認められる。学識者（顧問）の見解では、第1湿原（最大湿原）には1000株以上のサギソウが自生しているとのこと。

また、基礎調査の際、確認できる植物を記録。毎年見られる植物もあれば、数年あけて観察できる植物など多様である。特に希少種は大変気まぐれで、絶滅したかと思われたところにひょっこりと姿を表すことがしばしばある。

新発見も多くあり、ヤマトキソウやホンゴウソウは本年新記載種。（湿生植物とは限らず）

植物ではないがトゲアリの発見もあり、寄生するクビオレアリタケ（冬虫夏草）も確認されている。まだまだ活動の中から発見があるに違いない。

#### ④植生管理・湿原再生作業

湿原の遷移縮小を食い止めるため、植生管理と湿原再生事業を実施している。

陸化が進み、ササの侵入が激しい。夏季・冬季にササ刈りを実施することで陽光を確保。湿生草本類の保護につながることを期待している。



実験段階ではあるが、水路の深掘れが起きる前に湿原内に横木を設置。深掘れの防止と、水の滞留時間を増やし湿地面積の拡大を目指している。

県による里山整備事業で、湿原群周辺の雑木林は大規模な整備が実施されている。しかしながら、常緑樹（ソヨゴ・ヒサカキ・イヌツゲ）やコナラなどの再萌芽が著しく、「北摂里山愛す会」（北摂里山大学OB会）と協力して管理作業を進めている。

#### ⑤環境教育支援

毎年西谷小学校3年生の環境教育に協力。全4回。

初回は参観日に座学にて湿原の概要を説明。その後学期に1度フィールドワークを実施。「見て・聴いて・触って・匂って・味わって」の五感を大切に学習している。2月中旬には最終回として保全活動体験を予定。

この学習をどうつなげていくのか。今年度おこなった中学校出前セミナーはその試みのひとつである。

また、各種団体の訪問時に要請があればガイドを派遣している。



#### ⑤広報活動

丸山湿原群の大切さと重要性を広く伝えるために、月1回会報を発行。月例の活動報告や、その時々で観察される動植物を紹介解説している。この会報は西谷自治会連合会を通じ西谷地区全世帯に回覧されている。HPにも掲載。全て、誰でも閲覧できるようにしている。

また、北摂里山博物館運営協議会と連携し、HP・Blogでタイムリーな話題を発信している。



環境調査

環境学習協力

サギソウ開花数調査

兵庫春天然記念物 丸山湿原セミナー 新企画（神視観）開催

セミナーの実施

丸山湿原群保全の会活動

2016 丸山湿原 湿原ガイド

11月19日(土)13:30~18:00  
場所 面会ふれあい夢プラザホール  
（神戸・おひさし小学校 すぐそばにあります）

丸山湿原の「あけぼの」  
「あけぼの」は、兵庫春天然記念物「丸山湿原」の  
水辺に咲く水生植物「サギソウ」の  
花の満開です。京都大学理学部植物学  
研究室（植物）と協同して調査研究  
（抄田 達、京都大学附属文化科学研究）

湿原保全再生活動

丸山湿原に暮らす食虫植物 貧栄養に生きる！

ムラサキミミカキグサ

ホザキミミカキグサ

モウセンゴケ

ヒメタヌキモ

モウセンゴケピンク

ミミカキグサ

モウセンゴケ

イシモチソウ

兵庫県天然記念物

丸山湿原群に咲く花々

コバトンボソウ

サギソウ

ツチアケビ

サワギキョウ

ヒナノカンザシ

ヒナノジャクジョウ

トキノウ

ノハナショウブ

ミカツキグサ

ウメバチソウ

アギナン

コマツカサススキ

丸山湿原群保全の会

無料 両生類卵塊数調査

マイナス7°Cの川で オオサンショウウオを追いかける男

田口 勇輝

オオサンショウウオの世界で彼を

この男の話をお聞きしたい

丸山湿原にも一緒に「こうじ」を

平成30年3月4日(日)

①午前10時30分~12時  
②午後3時30分~5時

兵庫県立宝塚緑谷の森公園 多目的室

講師 田口 勇輝 (神戸大学理学部)

お申し込み先

丸山湿原群保全の会 電話 090-1895-8081 (今往)

サギソウ開花

平成29年8月19日

丸山湿原(1000 湿原入口集合)【定員】

《申し込み》MAIL: yamashiro@nissai.or.jp

《問い合わせ先》丸山湿原エコミュージアム

〒669-1211 宝塚市大蔵野字泉屋1-1 西谷組

TEL: 0797-011785

FAX: 0797-011786

丸山湿原群保全の会

兵庫春天然記念物

丸山湿原エコミュージアム推進協議会(主催)  
丸山湿原群保全の会(実施団体)  
兵庫県北東部市民局・宝塚市(後援)

兵庫春天然記念物「丸山湿原」最も大きな面積を誇る第1湿原サギソウの数は1000株以上とわわれています。毎年開花数調査をし、保全状態を確認しています。みなさん一緒に開花数を数えてみませんか？

参加される方は、動きやすい服装、底の薄い靴でお越しください。また、高温が予想されるので水分補給、体調管理は各自で責任をお持ちください。携帯電話は使えません。

お見逃しにはなりません。